

第 96 期

中間報告書

(2021年4月1日から)
(2021年9月30日まで)

ATSUGI

ア ツ ギ 株 式 会 社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに当社グループ第96期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況をご報告申しあげます。

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により持ち直しが期待されたものの、新型コロナウイルス感染症拡大は収束せず、一部地域において断続的な緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置の実施により経済活動の停滞や景気後退の懸念は払しょくされず、先行きは不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、緊急事態宣言に伴う商業施設の臨時休業や営業時間短縮などによる消費活動の制限や衣料品の消費マインドの低下等により依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を引き続き推進していくとともに、足元の業績を回復軌道に乗せるため、「売上高の回復」、「株式会社レナウンインクスとのシナジー創出」、「国内基幹工場のアツギ東北株式会社の収支改善」の3つの課題にスピード感を持って対処してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,423百万円(前年同期比66.4%増)、営業損失は1,016百万円(前年同期は1,301百万円の損失)、経常損失は771百万円(前年同期は918百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は809百万円(前年同期は669百万円の損失)となりました。

なお、中間配当につきましては、見送りさせていただくことといたしましたので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に事業別の概況を申し上げます。

繊維事業

レグウェア分野は前年、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の臨時休業、在宅勤務や外出自粛の広がりを背景とした個人消費の冷え込み等の大きな影響を受けました。プレーンタイツなど秋冬商品の導入は進みましたが、生活様式の変化等の影響によるストッキング需要の減少は継続し、ソックスの伸び悩みもあり、同分野の売上高は5,336百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

インナーウェア分野も同様に、前年は新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、外出自粛等の影響を受けましたが、株式会社レナウンインクスを子会社化したことなどにより、同分野の売上高は4,433百万円(前年同期比202.9%増)となりました。

これらの結果、繊維事業全体の売上高は9,769百万円(前年同期比72.7%増)、営業損失は1,171百万円(前年同期は1,472百万円の損失)となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、保有資産の有効活用を進めておりますが、不動産事業全体の売上高は281百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は198百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しました。介護用品の販売や認知症高齢者向け介護施設であるグループホームも昨年の外出自粛の影響などにより一時苦戦した状況から回復し堅調に推移しました。これらの結果、その他の事業全体の売上高は371百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は30百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

以上が第96期第2四半期連結累計期間の事業の概況であります。

今後の見通しにつきましては、依然として不透明な経済情勢が続くことが予想されます。当社グループを取巻く環境も引き続き厳しい状況で推移していくものと予想される中で、第3四半期以降に向けて、価格を上回る価値ある商品作りと経営の効率化、合理化を進め、目標の達成に全力を挙げて取り組んでまいります。

なにとぞ株主のみなさまにおかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 工藤 洋志

四半期連結貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	18,767	流 動 負 債	4,025
現金及び預金	6,237	支払手形及び買掛金	1,754
受取手形及び売掛金	4,029	1年内返済予定の長期借入金	470
商品及び製品	5,612	未払法人税等	108
仕 掛 品	1,380	賞 与 引 当 金	82
原材料及び貯蔵品	457	そ の 他	1,608
そ の 他	1,137	固 定 負 債	5,527
貸倒引当金	△ 87	長期借入金	1,615
固 定 資 産	23,734	繰延税金負債	1,263
有形固定資産	15,426	再評価に係る繰延税金負債	1,286
無形固定資産	261	退職給付に係る負債	1,104
投資その他の資産	8,046	そ の 他	256
		負 債 合 計	9,552
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	28,952
		資 本 金	20,000
		資 本 剩 余 金	12,030
		利 益 剩 余 金	△ 1,612
		自 己 株 式	△ 1,465
		その他の包括利益累計額	3,862
		その他有価証券評価差額金	2,302
		繰延ヘッジ損益	240
		土地再評価差額金	388
		為替換算調整勘定	930
		非支配株主持分	135
		純 資 産 合 計	32,949
資 産 合 計	42,502	負債純資産合計	42,502

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(2021年4月1日から
2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	10,423
売上原価	7,945
売上総利益	2,477
販売費及び一般管理費	3,493
営業損失(△)	△1,016
営業外収益	259
受取利息及び配当金	109
持分法による投資利益	2
為替差益	49
補助金収入	51
その他の	47
営業外費用	15
支払利息	6
租税公課	1
その他の	7
経常損失(△)	△ 771
特別利益	28
固定資産売却益	28
特別損失	29
固定資産除却損	0
減損損失	29
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 773
法人税、住民税及び事業税	24
法人税等調整額	9
四半期純損失(△)	△ 807
非支配株主に帰属する四半期純利益	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 809

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取締役および監査役（2021年9月30日現在）

代表取締役社長
社長執行役員 工 藤 洋 志

取 締 役
執 行 役 員 岡 田 武 浩
(物流・子会社事業担当)

取 締 役
執 行 役 員 牧 野 智 哉
(営業統括)

取 締 役 高 梨 利 雄

取 締 役 播 磨 奈 央 子

常 勤 監 査 役 佐 藤 智 明

監 査 役 後 上 憲 一

監 査 役 高 野 健 吾

- (注記) 1. 取締役のうち高梨利雄、播磨奈央子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち後上憲一、高野健吾の両氏は、社外監査役であります。
3. 播磨奈央子氏の戸籍上の氏名は高木奈央子であります。

株 主 メ モ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金支払株主確定日	
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 取 引 所	東京 (第1部)
公 告 方 法	電子公告 アドレス https://www.atsugi.co.jp/ir/koukoku.html

〔ただし電子公告による公告ができな
い場合は、日本経済新聞に掲載して
行います。〕

○株式に関する各種お手続きについて

- ・株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社で承ります。
- ・証券会社に口座をお持ちでない株主様は、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

アツギ株式会社

〒243-0493 神奈川県海老名市大谷北一丁目3番2号

TEL 046-231-1111 (代表)